

## 編集後記

みなさんは俗にいう「人前で話す」コトは得意ですか？学会発表、院内報告会や症例検討会、オリエンテーション、図書室の利用案内などなど…。規模の大小はありますが、「人前で話す」機会って、病院では結構ありますよね。

先日、Dr.とこんな話になりました。「学会で発表するとしようや。筆頭演者はもちろん発表する人物で、他共同演者1名。『発表原稿作成にはほぼ関わらずに発表だけする』のと『発表原稿をほぼ一人で作成して発表しない』のと、どっち取る？」。私はすかさずこう答えました。「スライドを作るから、絶対発表しない人」。するとそのDr.はすかさず「何でやねん、前に立ってしゃべるだけでええねんぞ？ラクやぞ？すぐ終わるぞ？」と。「私、“極度の緊張しい”なんです。アタマが真っ白になる上、何しゃべってたかの記憶がすっかりとんでしまう。胃も頭も痛くなるし吐き気もするし。スライド作る方が絶対いい」。そこで「冗談!! 誰が緊張しいやねん!?(爆笑)。まあ自分の場合は選ばんでも自然と作らされる方になるんやろけどな(笑)」。

人前で話せるかどうか、そのDr.曰く「慣れ」だという。慣れてくると読み原稿など必要なく、聴講している人の顔や反応を見ながら、冗談も交えて話ができるそう。研修会や学会で聴きやすい話というのは、「話慣れている人」が話しているからかもしれない。

ちなみに「慣れだけではないですよ。その人の性格もあるハズです」、大きく反論したら「何事も経験<sup>x2</sup>。性格なんてほぼ関係あらへん。院内で発表する場を作ったろか(笑)」と返ってきた。本当に性格は関係ないんだろうか。

さて今号は、大変な労力を費やされ、極度に緊張(?)されたであろう演者の方々による、珠玉の「事例報告会」特集です。演者の方の経験された事、調べられた事がお役に立ち、伝えたい事を少しでも感じていただければ幸いです。

(松尾知香)

### 会誌編集部員

部 長:	増 田 徹 (藍野大学)
部 員:	井 上 智奈美 (三菱京都病院)
	寺 澤 裕 子 (関西労災病院)
	松 尾 知 香 (石切生喜病院)
	若 杉 亜 矢 (松下記念病院)

病院図書館 第30巻 第2号

季刊

2011年1月15日 発行

定 価 ￥1,500 (年間購読料 ￥6,000) 送料込

発行所 近畿病院図書室協議会

〒651-1145 兵庫県神戸市北区惣山町 2-1-1 社会保険神戸中央病院医学資料室 気付

TEL (078) 594-2616 FAX (078) 594-2289

印刷所 明文舎印刷株式会社

〒601-8316 京都市南区吉祥院池ノ内町 10

TEL (075) 681-2741 FAX (075) 681-2742